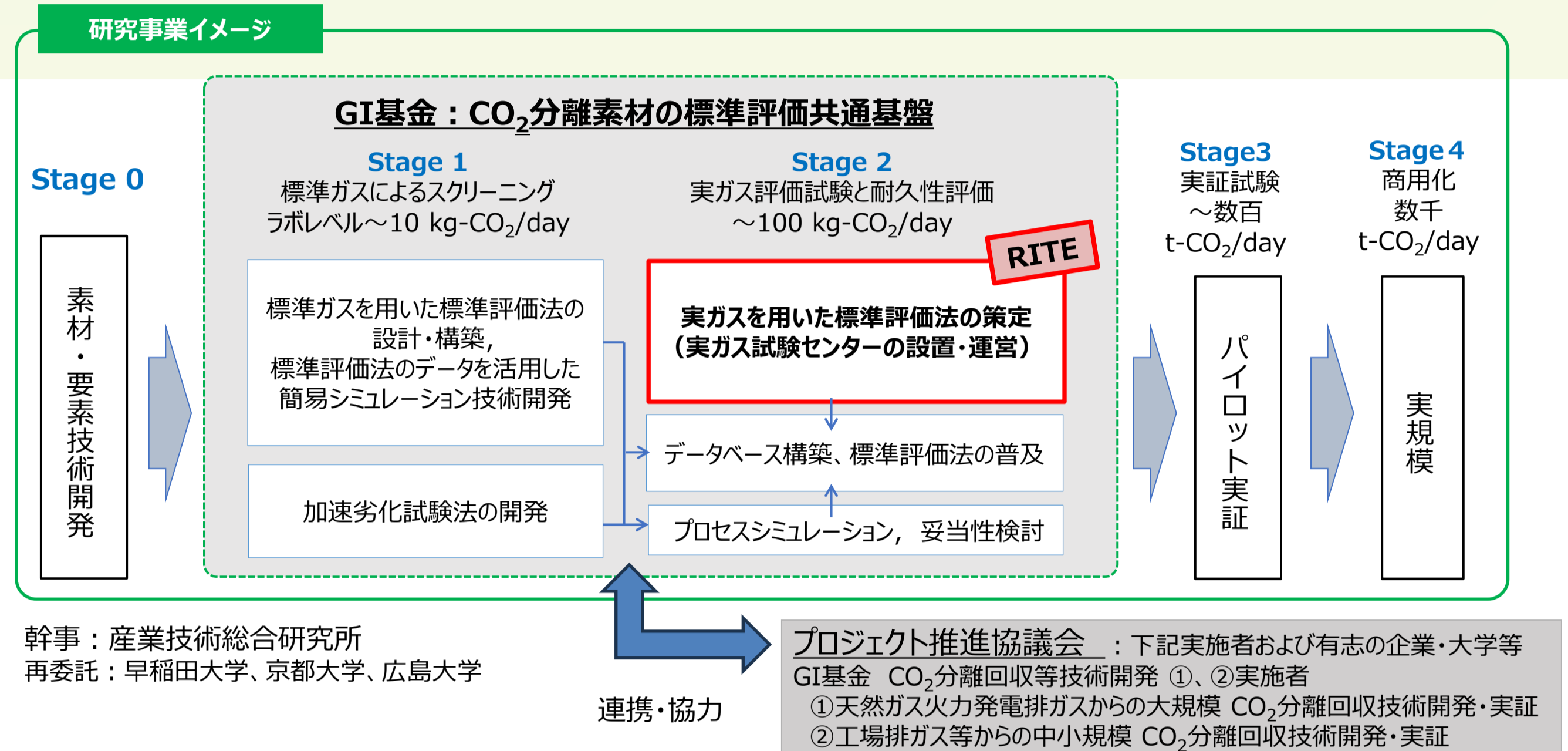
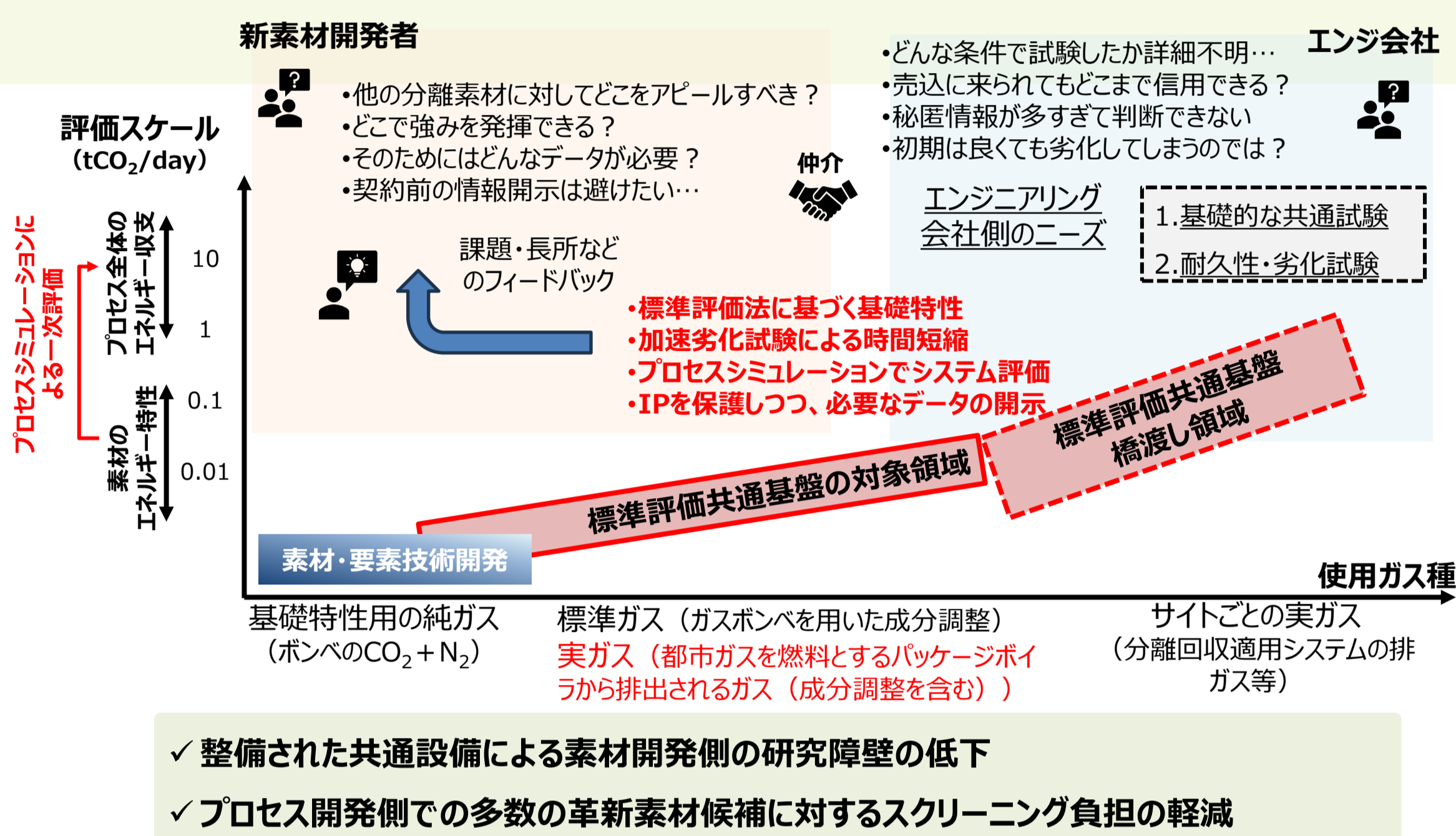


実ガス試験センター構想

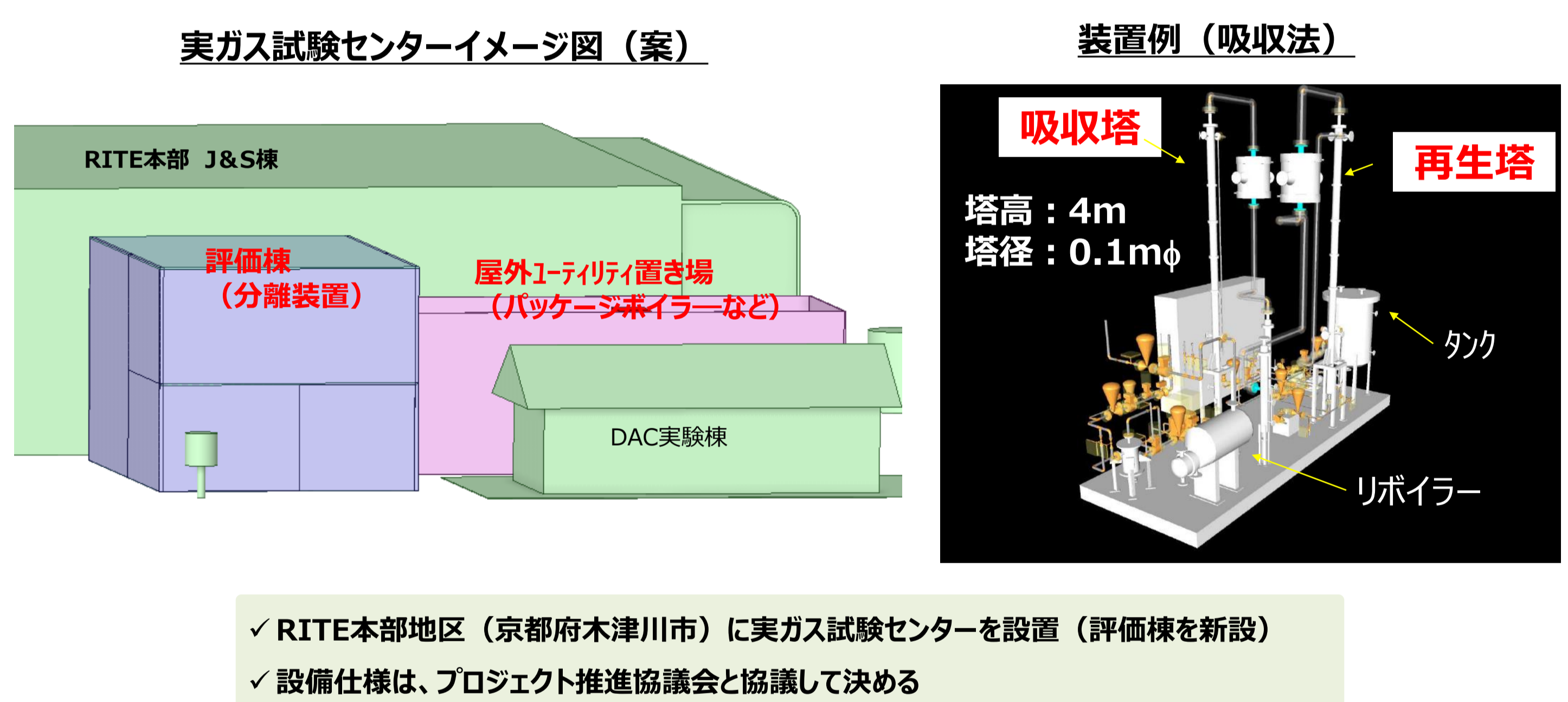
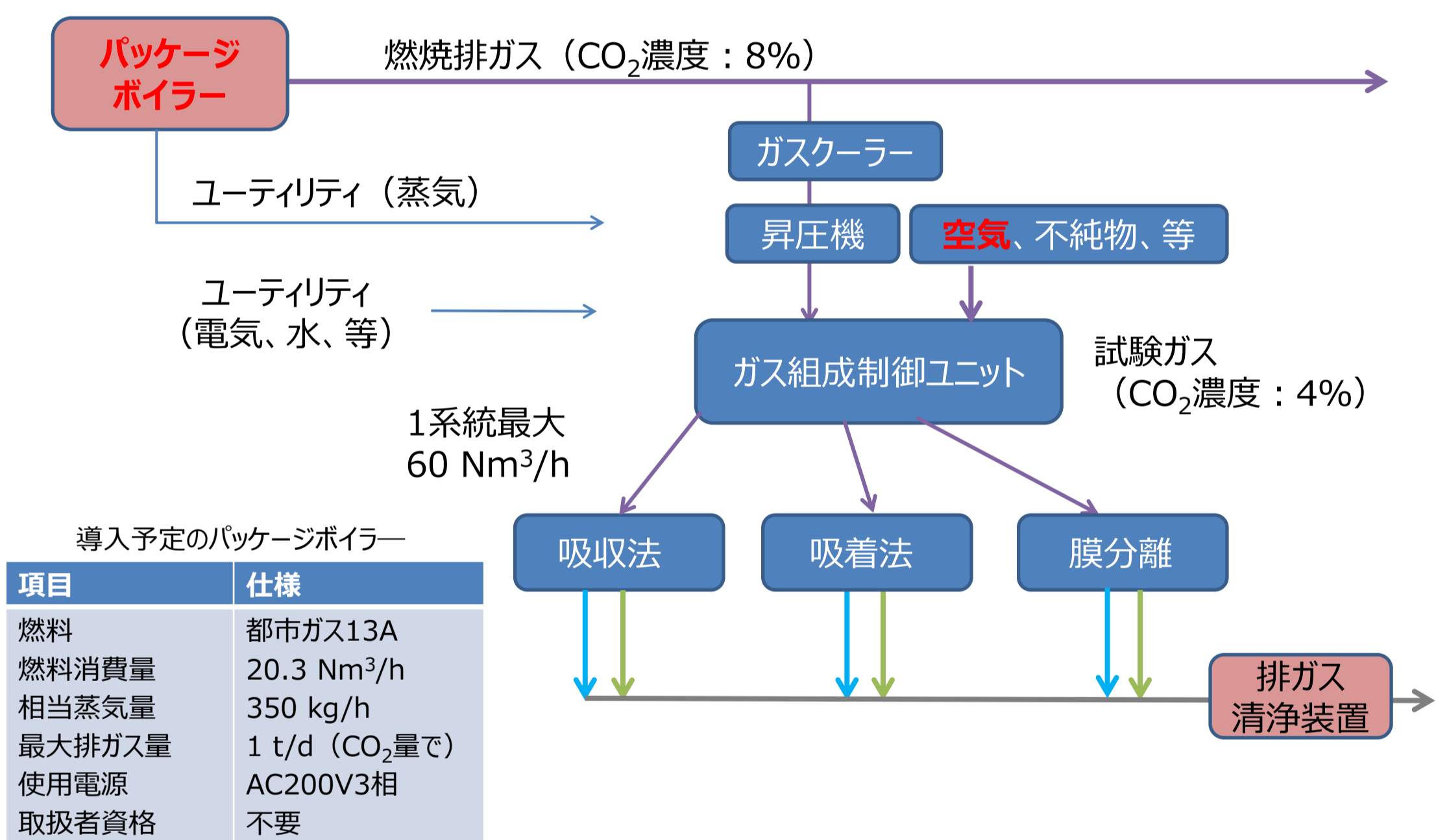
—CO₂分離素材開発のための標準評価法の確立、センター整備—

CO₂分離回収市場において産業競争力を強化しシェアを拡大するためには、分離素材の中立かつ公平な評価を可能にする標準評価法と設備が必要と考えます。そのためにRITEに低圧・低濃度排ガス（大気圧、CO₂濃度10%以下）を対象とした実ガス試験センターを新設し、実際の燃焼排ガスをを用いた3種類（化学吸収法、吸着法、膜分離法）のCO₂分離回収試験設備を整備します。

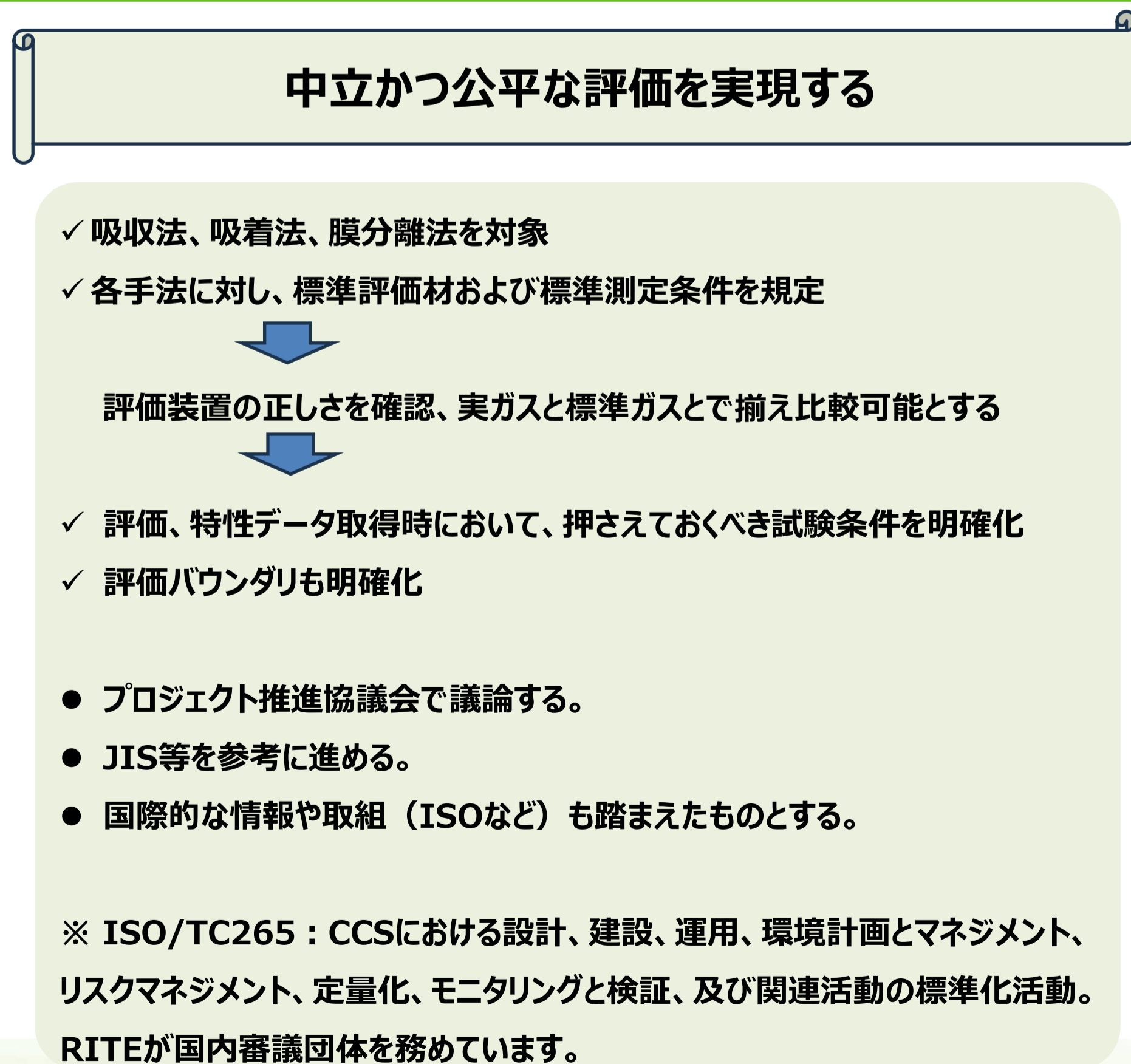
ねらい



実ガス試験センター全体構想



標準評価法



国際情報の収集と発信



※この資料は、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) のプロジェクトの成果を基に作成しています。
NEDO委託事業「グリーンイノベーション基金事業/CO₂の分離回収等技術開発
/低圧・低濃度 CO₂ 分離回収の低コスト化技術開発・実証
/CO₂ 分離素材の標準評価共通基盤の確立」



Research Institute of Innovative Technology for the Earth